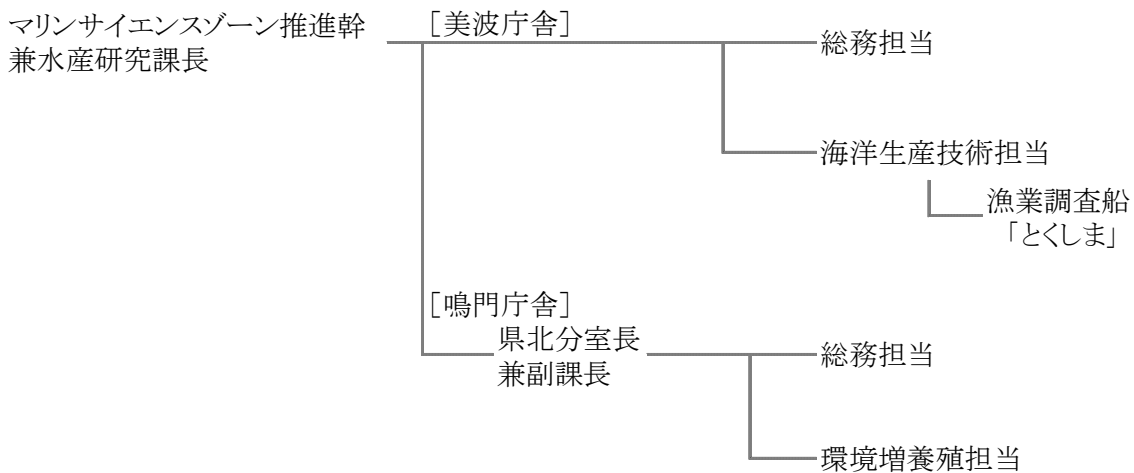


## 1. 水産研究課の構成



## 2. 職員の配置

令和元年5月1日現在

	一般職員			非常勤特別職		合計
	兼務	再任用	計	水産指導員	試験研究 補助員	
マリサイエンスゾーン推進幹 兼水産研究課長	1		1			1
県北分室長兼副課長	1		1			1
総務担当	2		2			2
環境増養殖担当（研究職員）	4	1	5	2	1	8
海洋生産技術担当(研究職員)	5	2	9	1	2	12
（船員）	6		6			6
計	19	2	24	3	3	24

### 3. 研究業績

#### 論文発表

- 1) Kazuya Nagasawa, Akihiko Yuasa (2019) The fish louse *Argulus coregoni* from *Oncorhynchus masou ishikawae* (Salmonidae) cultured in Shikoku, western Japan, with a list of occurrence records of *A. coregoni* from fishes reared in Japan. *Crustacean Research*, 49, 1-8
- 2) 安藤大輔, 矢野靖和, 上田幸男 (2020) 紀伊海底谷におけるタチウオ越冬場の形成. *黒潮の資源海洋研究*, 21,
- 3) 矢野靖和, 安藤大輔, 上田幸男 (2020) 徳島県の小型底曳網の漁業実態から見たクマエビの日周行動と越冬移動. *黒潮の資源海洋研究*, 21, 89-91

#### 学会発表

タイトル	著者	学会名・大会名等	備考
温暖化に対応したワカメ養殖手法の開発	多田篤司, 棚田教生, 村瀬昇, 清本節夫, 手塚尚明, 吉田吾郎	第20回広島湾研究集会	要旨ページ: 3, 令和元年12月20日
徳島県のワカメ養殖が直面する環境変動とその適応策	多田篤司, 棚田教生, 村瀬昇, 吉田吾郎	令和元年度日本水産学会中国・四国支部例会 瀬戸内海水産フォーラム合同シンポジウム	要旨ページ: 6, 令和元年10月27日
クロロフィル蛍光法によるワカメ幼体の高温ストレスの評価	村瀬昇, 浅岡陸久, 阿部真比古, 野田幹雄, 棚田教生, 多田篤司, 中西達也, 岡直宏, 浜野龍夫, 島袋寛盛, 吉田吾郎	日本藻類学会第44回大会	要旨ページ: 55, 令和2年3月27日
長崎県と徳島県のワカメ養殖場に出現した植食性魚類	清本節夫, 手塚尚明, 堀正和, 棚田教生, 多田篤司, 門田立, 邵花梅	令和元年度日本水産学会九州支部大会	令和元年12月7日
ワカメ養殖漁場における低コスト表層水温ブイの開発状況	手塚尚明, 吉田吾郎, 多田篤司, 棚田教生	第5回沿岸生態系の評価・予測に関するワークショップ	令和元年12月3日